

LIFE の利活用が要件に含まれる加算とは？

以下に示す加算はLIFEの利活用が算定要件に含まれています。

加算名
科学的介護推進体制加算
科学的介護推進体制加算 (I)・(II)
個別機能訓練加算 (II)・(III)
ADL 維持等加算 (I)・(II)
リハビリテーションマネジメント計画書情報加算 (I)・(II)
理学療法 注6、作業療法 注6、言語聴覚療法 注4 理学療法 注7、作業療法 注7、言語聴覚療法 注5
短期集中リハビリテーション実施加算 (I)
リハビリテーションマネジメント加算 (ロ)・(ハ)
介護予防通所・訪問リハビリテーションの12月減算の免除に係る要件
褥瘡マネジメント加算 (I)・(II)
褥瘡対策指導管理 (II)
排せつ支援加算 (I)・(II)・(III)
自立支援促進加算
かかりつけ医連携薬剤調整加算 (II)
薬剤管理指導の注2
栄養マネジメント強化加算
栄養アセスメント加算
口腔衛生管理加算 (II)
口腔機能向上加算 (II)・(II) イ・(II) ロ

科学的介護情報システム (LIFE) スタートガイド



LIFE についてもっと知りたいときは

LIFEに関する様々なマニュアルが公開されています。

知りたい内容に合わせて、下記のマニュアルをご活用ください。

■ LIFEの導入方法・操作方法を知りたい

LIFE操作マニュアル

■ LIFEに提出項目の内容・評価方法やフィードバックの活用方法を知りたい

ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)利活用の手引き

■ LIFEの活用に関する具体的な事例を知りたい

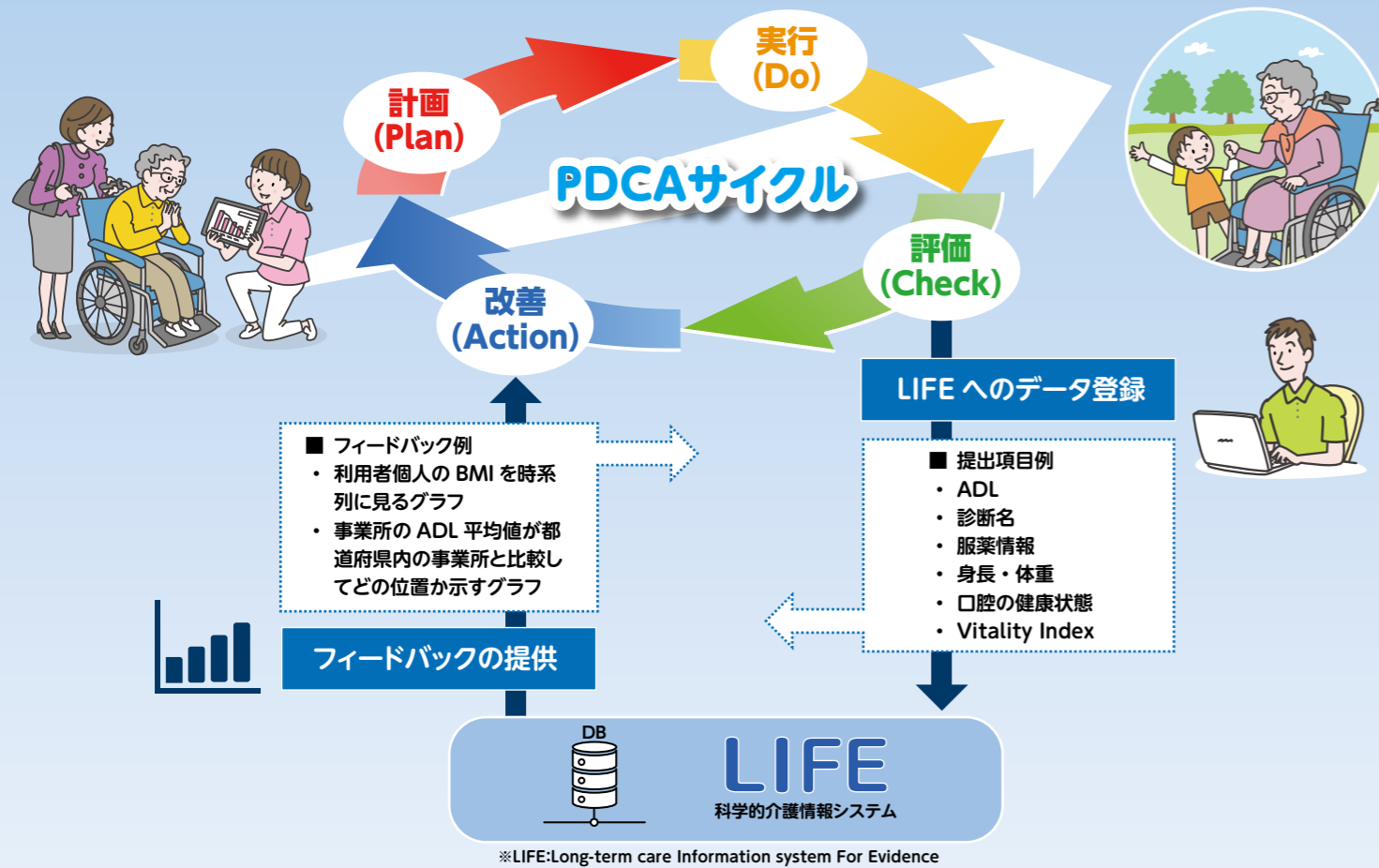
ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)の利活用に関する事例集



まずは「新規登録」をしてみましょう！

科学的介護情報システム(LIFE[※])とは?

- 介護施設・事業所において、質の高いケアを提供していくために、ケアプランや介護計画、日々のアセスメントの結果など、ケアに関わる様々なデータを活用して取組の効果・課題などの把握を行い、継続的に改善を行っていくことはとても重要です。
- 科学的介護情報システム(LIFE)は、データを活用したケアの見直しや改善を支援することを目的とした情報システムです。LIFEでは、介護施設・事業所で記録されている様々な情報のうち、利用者の状態や、ケアの計画・内容などに関する情報を収集し、蓄積した全国のデータに基づいてフィードバックを提供します。



LIFE はどのように活用すればいいの?

- 達成したい目標に対して計画・実行・評価・改善を繰り返す「PDCAサイクル」を実践する中で、利用者の状態などを評価・記録し、LIFEへとデータを提出します。
- フィードバックされたデータと介護施設・事業所で記録されている情報を組み合わせ、改善点や課題の検討とケアの見直しを行うことによって、よりよいサービスの提供へとつなげていきましょう。

LIFE を活用するとどんな効果があるの?

- LIFEでは、全国の介護施設・事業所が同じ項目を用いて評価を行うため、同じ「軸」で利用者の状態を把握することができます。このため、利用者に関わる職員が共通の目標に向かって取り組みやすくなります。
- LIFEから提供されるフィードバックを用いることで、利用者の状態や日々のケアの「見える化」につながります。自施設・事業所のデータと、他施設・事業所のデータを比較して、差がみられた項目をきっかけとし、計画や行ったケアの内容を見直すことができます。
- LIFEに提出する情報やフィードバックを職員間で共有し、同じデータを見ながら複数の視点で議論を重ねることで、利用者や提供するケアのあり方についてより多面的に理解することや、職員が自身のケアについて客観的に振り返ることにつながります。



どれくらいの介護施設・事業所がLIFEに関連した加算を算定しているの?

全国の介護施設・事業所のうち約45%がLIFEに関連した加算を算定しています^{※1※2}。

現在 LIFE を導入していない事業所においても約 65%が、今後 LIFE を活用したいという考えを示しています^{※2}。



LIFEを導入するために必要なものはあるの?

LIFEを使用するパソコン端末とインターネット回線が必要です。

LIFE はインターネット回線に接続したパソコン端末で使用することができます（携帯電話およびタブレット端末では使用できません）。

LIFE の導入には費用は必要ありません。

LIFE を導入するために ICT 機器の購入する場合、国および自治体の補助金が活用できる場合があります（例：介護テクノロジー導入支援事業）。



介護ソフトを使用しているLIFEは使えるの?

介護施設・事業所で既に介護ソフトを使用している場合、LIFEを導入することができます。

LIFEには介護ソフトに入力した情報を取り込む機能があります。

お使いのソフトに LIFE に登録するデータを出力する機能があれば、介護ソフトのデータを LIFE に反映させることができます。



フィードバックって何?

LIFEから提供される、ケアの見直しの“きっかけ”となるデータです。

各利用者の状態の変化や、全国の同じような利用者と比較した自施設・事業所の相対的な位置を、グラフなどを用いて確認することができます。

ケアプランや介護計画、日々のアセスメントの結果などと併せて、ケアの見直しを行う材料として活用しましょう。



LIFEで集めたデータは何に使われるの?

介護施設・事業所のみならず、研究者にも活用されます。

蓄積されたデータを分析することによって、例えば「利用者の状態ごとにどのような特徴があるのか」、「利用者の状態ごとにどのような注意が必要なのか」、「状態別に有効な介入策は何か」といった研究成果を得ることができ、この成果が介護現場に還元されることや、フィードバックの充実につなげていくことを目指しています。

※1 令和5年4月時点のデータに基づく

※2 第240回社会保障審議会介護給付費分科会
(4) LIFEの活用状況の把握およびADL維持等加算の拡充の影響に関する調査研究事業 報告書のデータに基づく